

—大阪の全ての歯科医療関係者を コロナ感染から守る—



実施報告 | P2.P3

参加者・関係者コメント | P4



新型コロナワクチン職域接種3回目

実施報告



令和4年3月26日（土）～28日（月）、新型コロナワクチン職域接種3回目を実施しました。

職域接種1回目・2回目（以下、「初回接種」）と同様に、ヴィアーレ大阪に会場を設け、徹底した感染予防策を講じて行われました。

3回目接種に向けて



「大阪府の全ての歯科医療関係者をコロナ感染から守る」というスローガンのもと、会員をはじめ、会員のご家族および職場の同僚、歯科技工士学校学生や学校関係者、また、歯科商店やメーカーの関係者まで、あらゆる歯科にかかわる方々を接種対象者として2,500

名の接種に対応できるように準備を進めてきましたが、3回目接種（以下「追加接種」）について、職域では「2回目接種から7ヶ月以上経過後」と定められているのに対し、地域行政での接種では「2回目接種から6ヶ月経過後でも可能」と定められていることなどからキャンセル等が相次ぎ、最終的に1,354名の方への接種となりました。

必要とされる職域接種



初回接種を受けた人数よりも少なくなりましたが、言い換えれば、今回接種を受けていない方は別の医療機関で追加接種を受けることが出来ているという事であり、皆さんがきちんとワクチン接種を受けている現状はとても喜ばしいことであると感じました。別の医療

機関で受けられた方もいるとは言え、それでも1,354名の方々に大阪府歯科技工士会の職域接種が必要とされた事実は大変意義深いことであり、誇りと達成感を実感しました。



待機風景

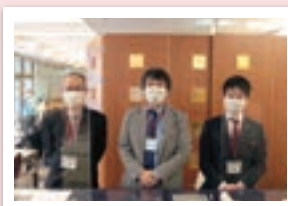


左）山本教授・右）清水会長（当時）



清水会長（当時）の接種風景

医療行為の責任を 肌で感じて



3 回目の職域接種は、初回と同様に 3 日間実施し、医師、看護師、臨床検査技師、歯技協西支部、大阪府技の会員と約 50 名のスタッフで行いました。医師、看護師、臨床検査技師の方々が業務に集中できるよう、会場内外の誘導や受付、予診票チェックなどのスタッフ業務について何度もシミュレーションを重ね、万全の準備で接種日を迎えました。

接種当日の朝、医師らによる打ち合わせの様子を伺っていると、この職域接種が医療行為であり、この場所を医療機関として機能させることの責任の重さを改めて感じました。初日は予約数も多く、多少の混雑は見られたものの、来場者の皆様のご協力もあり、とてもスムーズに実施することが出来ました。

来場者の皆さんは 3 回目のワクチン接種でありましたが、それでも緊張感や恐怖心の強い方もおられ、そのような方には接種後も付き添い、緊張を和らげるとともに待機スペースのスタッフに願するなどの連携を取り、体調不良者の早期発見と早期対応に心がけました。また、初回接種の経験から、救護室の設置にも工夫を凝らし、緊急の事態にも迅速に対応できるよう準備していたこともあり、我々スタッフも緊張しすぎることなく冷静に業務を行っていたように感じました。

皆様の協力のもとに…



職域接種を辞退する企業や団体が多い状況の中においても滞りなく実施することが出来ました。阪大の山本教授をはじめ医療スタッフや会場スタッフのご協力のおかげであることはもちろんですが、会長と事務局をはじめとする運営スタッフの長期にわたる準備期間があつてこそだと、このレポートを書きながら再認識させられました。

3 日間とも順調に行われ、大きな問題もなく無事に終わることが出来ました。政府の方針転換に半ば振り回されながらも柔軟かつ迅速に対応し、3 回目の



早期終息と地域医療への 貢献を願い



今回、キャンセルされた方々に理由をお聞きしたところ、別の医療機関で接種された方がおられた一方、ご本人が感染または濃厚接触者となっている方も多くおられました。前回は、このような理由でキャンセルされた方がほとんどいなかったことを思うと、大阪府下において急速な感染拡大が起こっている現実を痛感しました。我々の活動が、地域医療の崩壊を防ぐことに少しでも貢献できていれば幸いです。

今回、キャンセルされた方々に理由をお聞きしたところ、別の医療機関で接種された方がおられた一方、ご本人が感染または濃厚接触者となっている方も多くおられました。前回は、このような理由でキャンセルされた方がほとんどいなかったことを思うと、大阪府下において急速な



公明党議員の視察



全ての関係者に感謝



追加接種初日の 3 月 26 日には、参議院議員の石川ひろたか先生、熊野せいし先生、大阪府議会議員の大山明彦先生が視察に訪れ、激励の言葉を頂きました。熊野先生には初回接種の際に会場確保の後押しをして頂いた経緯もあり、我々歯科技工士に対して、親身になってご尽力くださる姿勢には感謝しかありません。

3 回目のワクチン接種を終えられた方には、大阪府技から「接種済バッチ」を配布しました。この接種済バッチは、一般社会に向けたメッセージが含まれており、歯科医療機関に出入りするときにこのバッチを付けていただく事により歯科医師、歯科衛生士はもちろんのこと、患者さんにも安心して治療を受けていただけることを目的としています。

ご来場いただいた皆様から多数のお言葉を頂きましたので、次頁にて一部をご紹介します。



近連会長の視察



バッチ

参加者・関係者コメント

中央北支部 下郡夫妻



職域接種を実施頂いてありがとうございます。

1回目、2回目は、まだまだワクチンが不足していた時期でしたので、接種ができたことは本当にありがたかったです。歯科技工士会入会のメリットだと思います。

また、職域接種会場には顔見知りも多く、安心して接種ができました。ありがとうございました。

中央北支部 横野 裕彦



集団接種会場で接種するよりも、職域は知り合いが多く、不安なく接種できました。ありがとうございました。

医療従事者として若い世代の多くの歯科技工士に接種して頂きたいと思います。

会員の同僚の方とご家族



家族でワクチン接種に来ました。職場の同僚やその家族も受けることが出来るということで本当にありがたく思います。

接種会場には職場の方もおられるので、家族も安心していました。このような活動が、もっと広く世間に知られるといいなと思います。

湯浅歯科医院 歯科医師 湯浅 直樹 先生



私は1、2回目のワクチン接種を技工士会の職域接種で受けておらず、3回目のみこちらで受けさせていただきました。参加して感じた事は、1、2回目のマイドーム大阪と比べて、規模は小さいが、その分きめ細やかな対応をしてくれている事を随所に感じるこ

とが出来ました。

私事ではありますが、私は少し足下が不自由なのですが、マイドーム大阪では細かい段取りに不徹底な所が見えて、さらし者になっている気分になりそうでした。まあ、皆さん初めてのコロナワクチン接種なのだから仕方がないですが…。

このような事があったので、3回目接種を受けるのは実に気が重かったのです。しかし、実際に会場に行ってみると、Sさんがすぐに声を掛けて下さり、前を歩いて誘導して下さい、本当に段取り良く、安心して接種を受ける事が出来ました。

このワクチン接種で一番感じた事は、私は歯科医師なので優先して接種が受けることができましたが、同じ医療従事者である歯科技工士さんが優先接種をしてもらえないと言う事です。本当に憤りを感じました。



看護師、医師、本会役員、会員スタッフ（前列中央：山本教授）